

令和 8 年 7 月 9 日

【富山県美術館】コレクション展第 2 期の開催について

富山県美術館では、令和 8 年 7 月 9 日（木曜日）から 9 月 29 日（火曜日）まで、2 階の展示室 1 において「コレクション展第 2 期」を開催しておりますので、ご案内いたします。



概要

会場：富山県美術館 2 階 展示室 1

会期：令和 8 年 7 月 9 日（木曜日）から 9 月 29 日（火曜日）

休館日：毎週水曜日（ただし 8 月 12 日、9 月 2 日、9 月 23 日は開館）、9 月 24 日（木曜日）

展示内容と見どころ

コレクション展2期では、「キュビズムとその影響」「鉛筆画の世界」「型取り」「ストライプ」の4テーマに、特集展示「クリスト&ジャンヌ=クロード」を加えた5つのコーナーにより、当館が所蔵する作品を紹介します。

それぞれのテーマの展示内容は以下のとおりです。

「キュビズムとその影響」

20世紀初頭に起こった重要な美術運動で、それまでの遠近法に頼らずに、「時間」や「複数の視点」を一つの画面に収めようとしたキュビズムに注目し、関連作品を紹介。

「鉛筆画の世界」

身近な道具でありながら、繊細な線から力強い線まで、その濃淡により高い芸術性を生み出すことができる鉛筆を使った、具象、抽象のさまざまな表現の作品を紹介。

「型取り」

素材を加えて形を作る塑造、素材から形を彫り出す彫刻や複数の素材と技法を組み合わせ一つの形を作るミクストメディアなど、立体表現は時代とともに多様化してきました。ここでは、原型となる物の形状から直接型を取って、そのまま写し取る「型取り」の技法を使った作品を紹介。

「ストライプ」

さまざまな用途に用いられているストライプですが、西洋では永らく悪魔の模様とされてきました。今日、アーティストやデザイナーにとって重要で親しみやすい表現であるストライプによる作品を紹介。

特集展示「クリスト&ジャンヌ=クロード」

従来の美術の枠組みを脱し、「梱包」という独自のスタイルで制作活動をしたクリスト。妻のジャンヌ=クロードとともに「クリスト&ジャンヌ=クロード」として、一切援助を受けずに、巨大な建造物や橋を布で包んだり、自然の中に広げるといった壮大なプロジェクトを展開しました。今回は、クリスト&ジャンヌ=クロードの作品とポスターに関連資料を加え、その足跡を紹介。

(※) 展示作品は、都合により変更する場合があります。

会期中のイベント

ギャラリートーク

コレクション展会場（展示室1）を巡りながら、担当学芸員が本展の概要や見どころをお話します。

日時：7月18日（土曜日）14時00分～14時30分

開始集合場所：2階 展示室1

(※) 申し込み不要（当日有効のコレクション展観覧券が必要です。）

観覧料

コレクション展：一般 350 円（280 円）

（）内は 20 名以上の団体料金

（※）企画展チケットでコレクション展もご覧いただけます。

【次の方は観覧無料】

- ・ 小・中・高校生と大学生、70 歳以上の方
- ・ 学校教育、社会教育活動としての児童・生徒の引率者（観覧料免除申請書の提出が必要）
- ・ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳またはミライロ ID をお持ちの障がい者の方の観覧（付き添いは手帳をお持ちの方 1 人につき 1 名まで無料）

（※）詳しくは、富山県美術館ご利用案内（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）をご覧ください。

コレクション展について

富山県美術館のコレクション展では、前身の富山県立近代美術館から現在までの収蔵作品を展示しています。年 4 回程度さまざまなテーマによる展示替えを行い、多彩なコレクションを紹介。当館 2 階の展示室 1 では絵画・彫刻を中心とし、3 階の展示室 5 と展示室 6 ではポスターや椅子、富山県ゆかりの瀧口修造やシモン・ゴールドベルクのコレクションを展示しています。

